

## 富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧（第41輯）の発刊にあたり

キャンパス研究活動一覧の第41輯をここに発刊いたしました。本誌は、昭和53年の第1輯以来、医薬学図書館運営委員会の中で研究活動一覧編集委員を務められている諸先生方のご尽力により、今日まで継続して発刊されています。

本誌は、医薬系キャンパスの全教員の著書、原著、総説、学会発表等を網羅し統一した書式で毎年作成しており、今年度で発行号数は41輯を重ね、歴史的意義のある刊行物です。この“輯”で使われる漢字は、一般的には耳慣れないものでありますが、種々のデータを集め、一同に纏めることを意味しています。杉谷キャンパスの全教員のこの一年間の研究成果を纏めた一冊であり、医薬学図書館のホームページや富山大学学術情報リポジトリを通して内外の研究機関、さらには一般に公開されることで杉谷キャンパスにおける研究成果を伝える役目も果たしています。また、学内においては各教員の業績評価データ作成の一助となり、また、各人の自己啓発にも繋がり、さらにはキャンパス内における情報の共有化は互いの刺激だけでなく、共同研究のきっかけをも作ることもでき、なお一層の富山大学における研究成果の向上にも役立つものと確信しています。

医薬学図書館は富山医科薬科大学附属施設としての昭和54年の開館以来、36年以上にわたって、杉谷キャンパスにおける医学・薬学の研究・教育の分野で利用されてきました。また、キャンパス内の各学部・学科の学生数は年々増加しており、さらに地域の医療機関を含め学習・研究・診療その他諸々の要望に対応できるよう、蔵書のみならず資料の保管・閲覧のスペースが拡張されてきました。2014年末より新たな図書館として再スタートした本館は内部の設備を含め、多くの資料の電子化が図られ、利用者が快適に閲覧あるいは学習できる環境が整っています。一方、昨今、電子ジャーナルの経費高騰と図書館費の据え置きにより、今後は閲覧を制限しなければならなくなってしまうかもしれない問題が逼迫しています。しかし、研究者にとってこれらの情報はなくてはならないものです。その点からも今後は今ある医薬学図書館の機能をなお一層、飛躍させ、広く利用者に役立つ図書館となるよう努力していかねばなりません。

最後に、第41輯の発刊にあたり、ご多忙の中ご尽力いただきました研究活動一覧編集委員会の先生方と医薬学図書館課の皆様には厚く御礼申し上げます。本業績集が医薬系キャンパスの皆様にとりまして研究活動の益々の発展に繋がることを願っております。

富山大学医薬学図書館長 井村 穰 二

Imura Johji